



創造と挑戦

先進エレクトロニクスで未来を創造する
ソリューションデザインカンパニー

2023年3月期決算説明会

萩原電気ホールディングス株式会社

(東証プライム・名証プレミア 7467)

2023年6月2日

2023年3月期 決算概要

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高更新

- 売上高は、前期比17.4%増の1,860億円となり過去最高。
顧客の生産が好調なことや円安効果などで、国内海外ともに成長。
- 利益面では、売上増加により売上総利益が増加し、
営業利益は前期比54.4%増の67億円となり過去最高益を達成。

2024年3月期 業績予想

売上高は過去最高の2,130億円を目指す

- 売上高は、デバイス事業、ソリューション事業ともに成長の見込み。
- 利益面では、成長投資や、前期の為替変動やスポット案件で発生した特殊要因の反動減等を織り込み、営業利益は63億円の見込み。

中期経営計画 進捗

最終年度の経営目標を1年前倒しで達成

- 最終年度(2024年3月期)の経営目標を2023年3月期に達成し、
新たに経営目標を発表。
(新経営目標) 売上高2,130億円、営業利益63億円、ROE8%以上

当社の特徴(主要事業)

- 自動車向け半導体ビジネスと製造業を中心としたお客様向けのデジタルソリューションビジネスに注力。

デバイス事業

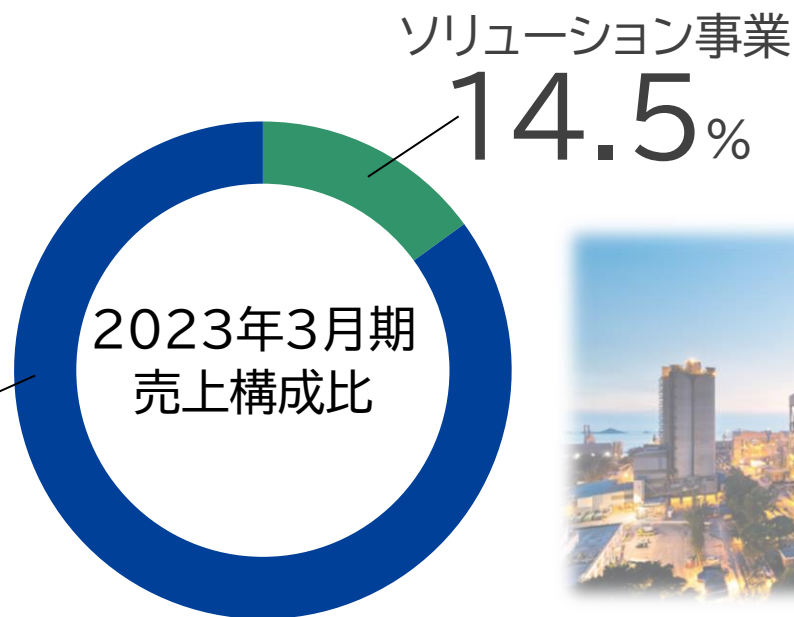
- ・自動車関連企業向けを中心とした半導体や電子部品の販売
- ・組込ソフトウェア／ハードウェア開発支援等の技術サポート

ソリューション事業

- ・IT機器や計測機器等の販売、ITプラットフォーム基盤構築の提案
- ・FAシステムや産業用コンピュータ等の設計開発・製造・販売



デバイス事業
85.5%

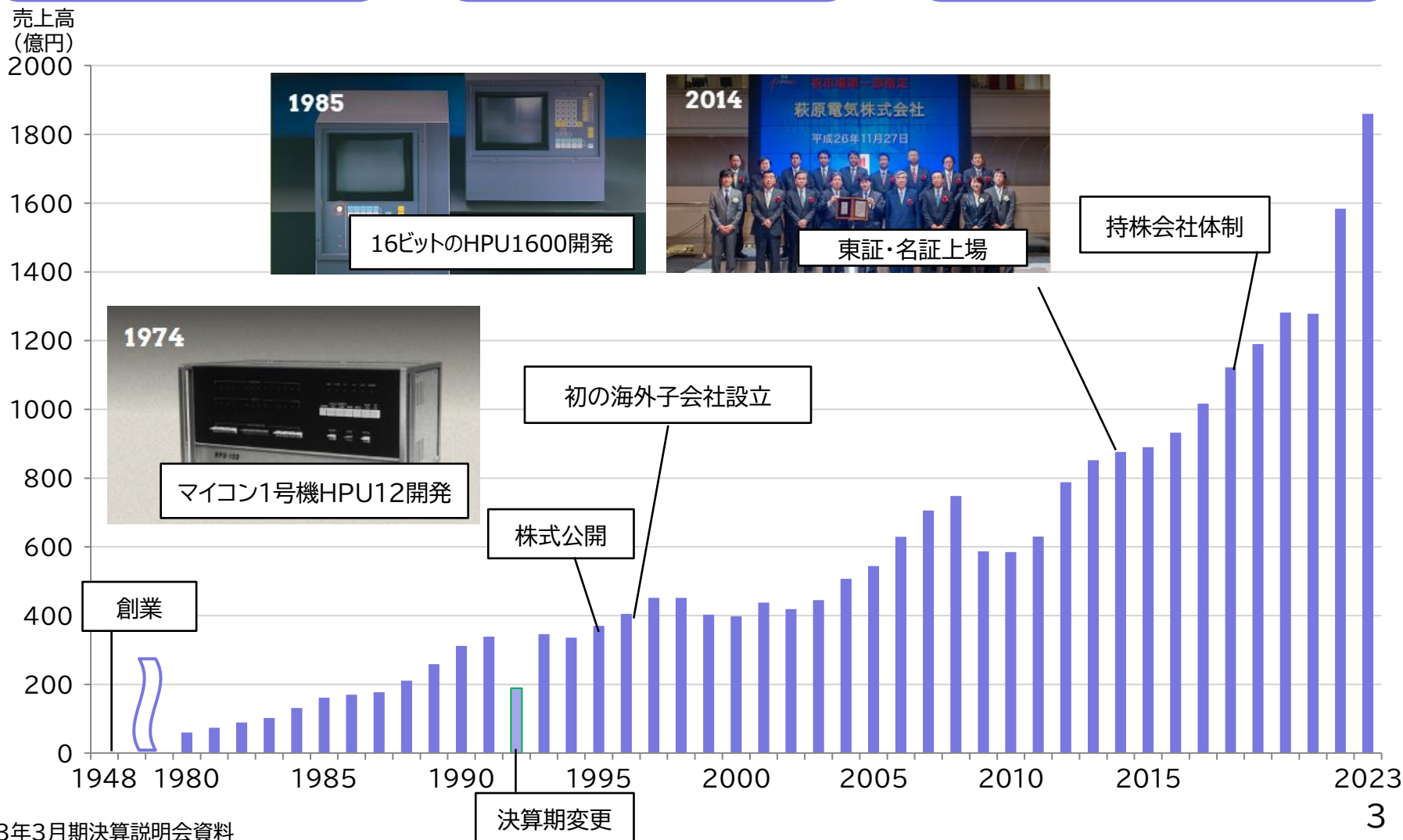


当社の特徴(売上推移)

公共施設の設備設置や、
電子部品販売など業容拡大

自動車のエレクトロニクス化の
波に乗り大きく成長

先進エレクトロニクスで未来を
創造するソリューションデザイン
カンパニーとして発展



2023年3月期決算概要

2024年3月期業績予想

中期経営計画の進捗状況および企業価値向上への取り組み

2023年3月期業績

■ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてで過去最高を更新。

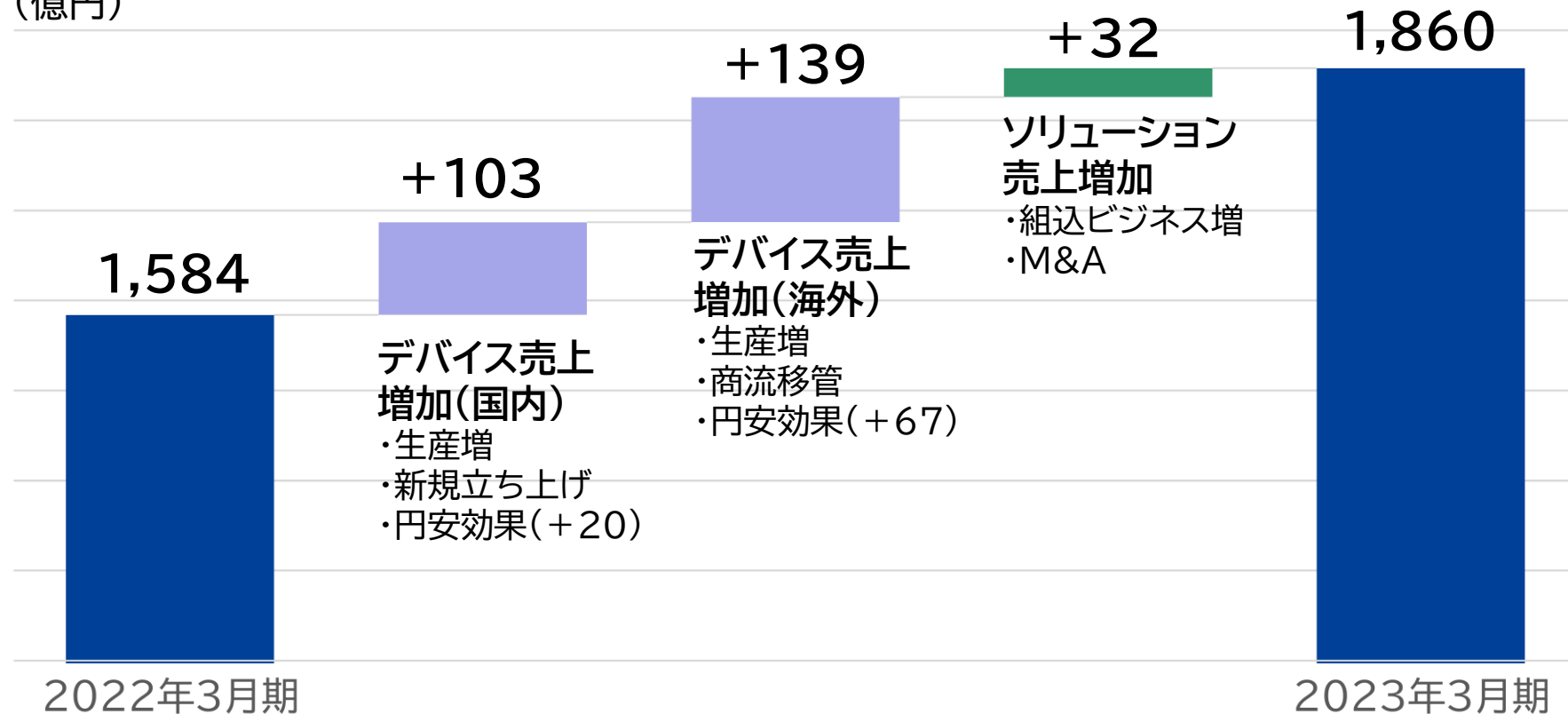
(単位:百万円)

| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | 前期比 | |
|---------------------|----------|------|----------------|------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 売上高 | 158,427 | 100% | 186,001 | 100% | +27,573 | +17.4% |
| 売上総利益 | 14,612 | 9.2% | 18,214 | 9.8% | +3,601 | +24.6% |
| 販管費 | 10,255 | 6.5% | 11,489 | 6.2% | +1,233 | +12.0% |
| 営業利益 | 4,356 | 2.8% | 6,725 | 3.6% | +2,368 | +54.4% |
| 経常利益 | 4,335 | 2.7% | 6,417 | 3.5% | +2,081 | +48.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,876 | 1.8% | 4,912 | 2.6% | +2,036 | +70.8% |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 325.07 | - | 554.71 | - | +229.64 | - |

売上高の増加要因

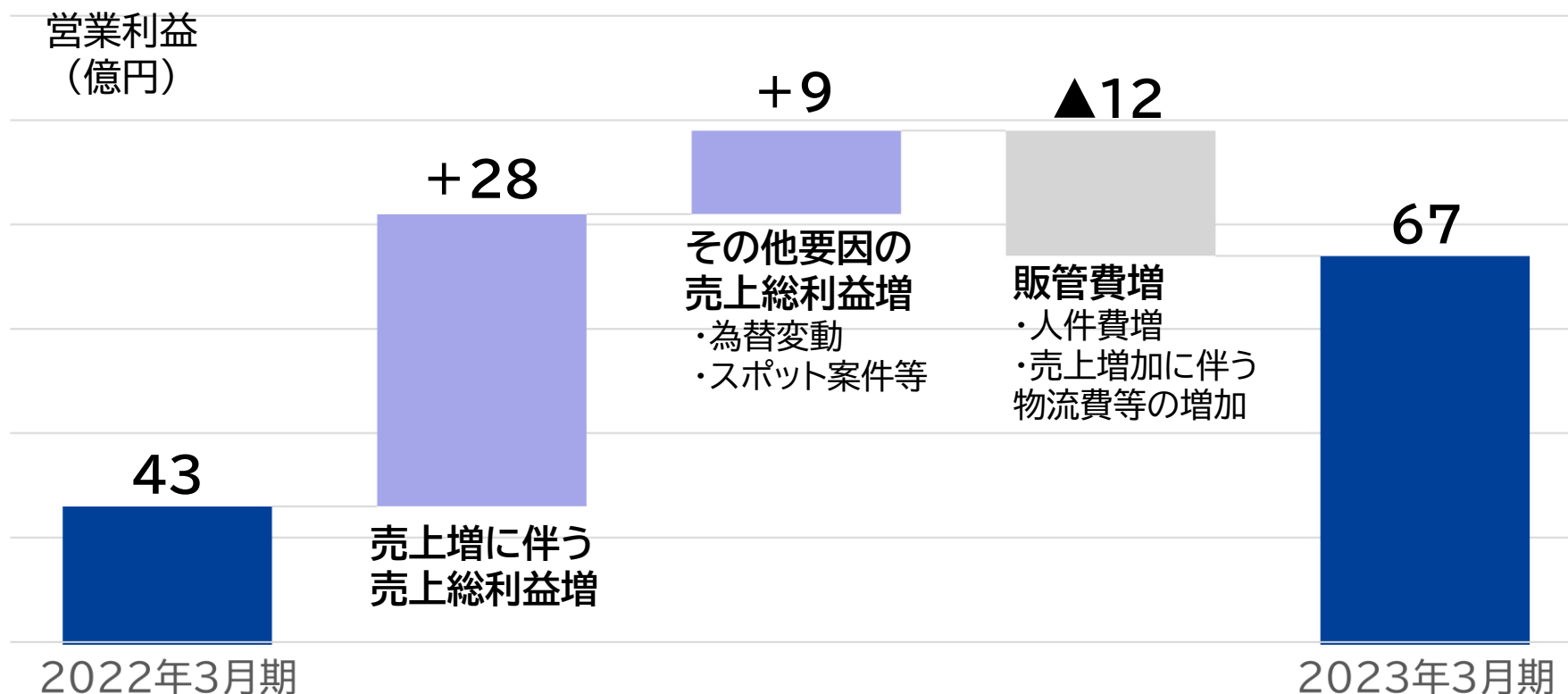
- 前期比較で275億円(+17.4%)増加。
- 顧客の生産好調や新規立ち上げによる受注増に加えて、円安による押し上げ効果や、M&Aによる事業拡大があった。

売上高
(億円)



営業利益の増減要因

- 前期比較で23億円(+54.4%)増加。
- 売上増加や為替変動等による売上総利益の増加に対し、販管費は増加したものの上昇率を抑えたことで、営業利益率は0.8ポイント向上。

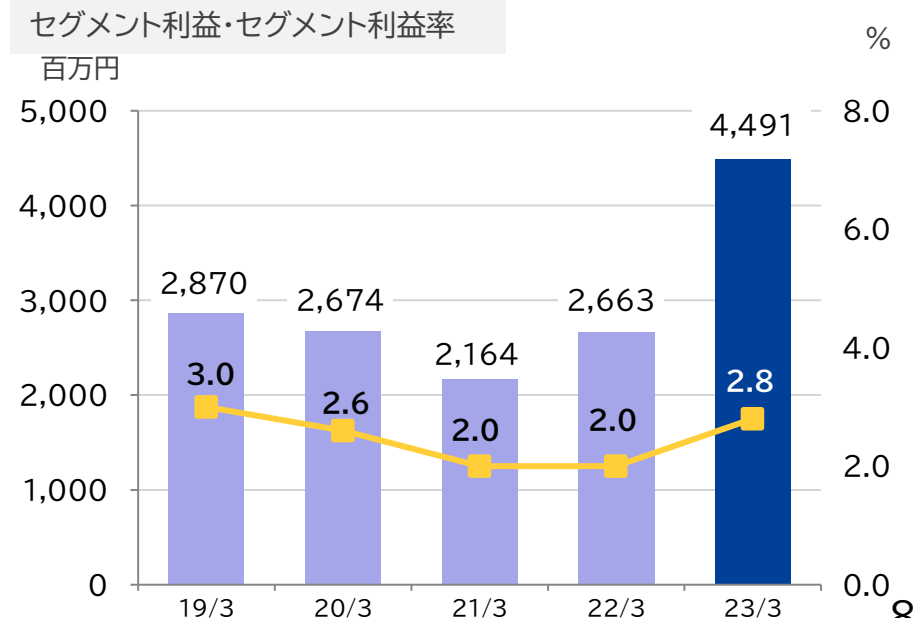
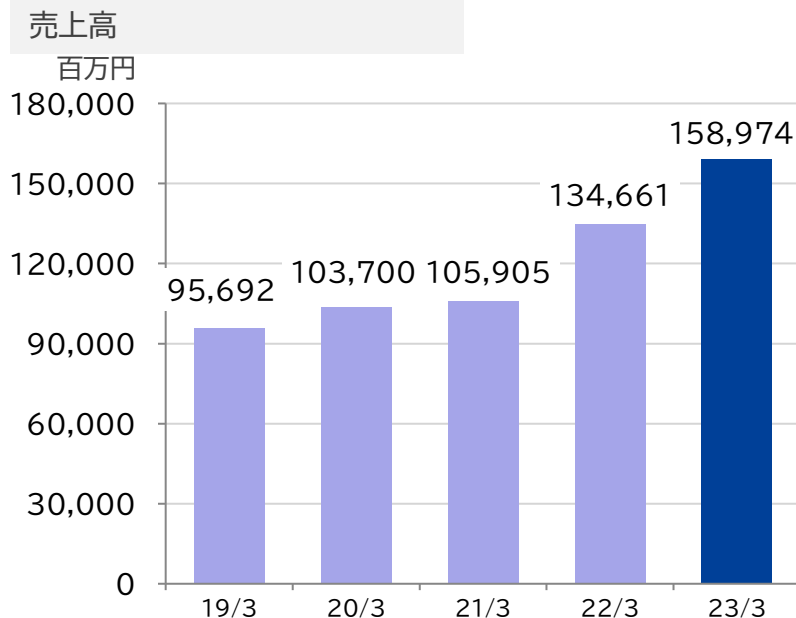


デバイス事業 業績概要

- 自動車の生産台数の増加や、採用品の新規立ち上げや車両展開があったことに加えて、円安による売上の積み上げ効果があった。
- 販管比率の低減もあり、利益率が0.8ポイント向上。

(単位:百万円)

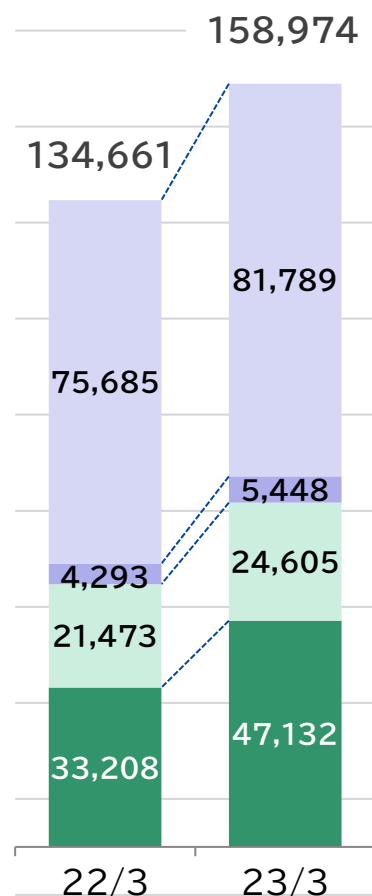
| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | | |
|---------|----------|------|----------|------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前期比 | |
| 売上高 | 134,661 | 100% | 158,974 | 100% | +24,313 | +18.1% |
| セグメント利益 | 2,663 | 2.0% | 4,491 | 2.8% | +1,827 | +68.6% |



デバイス事業 得意先別売上高前期比較

■ 主要得意先への売上は概ね増加。

(単位:百万円)



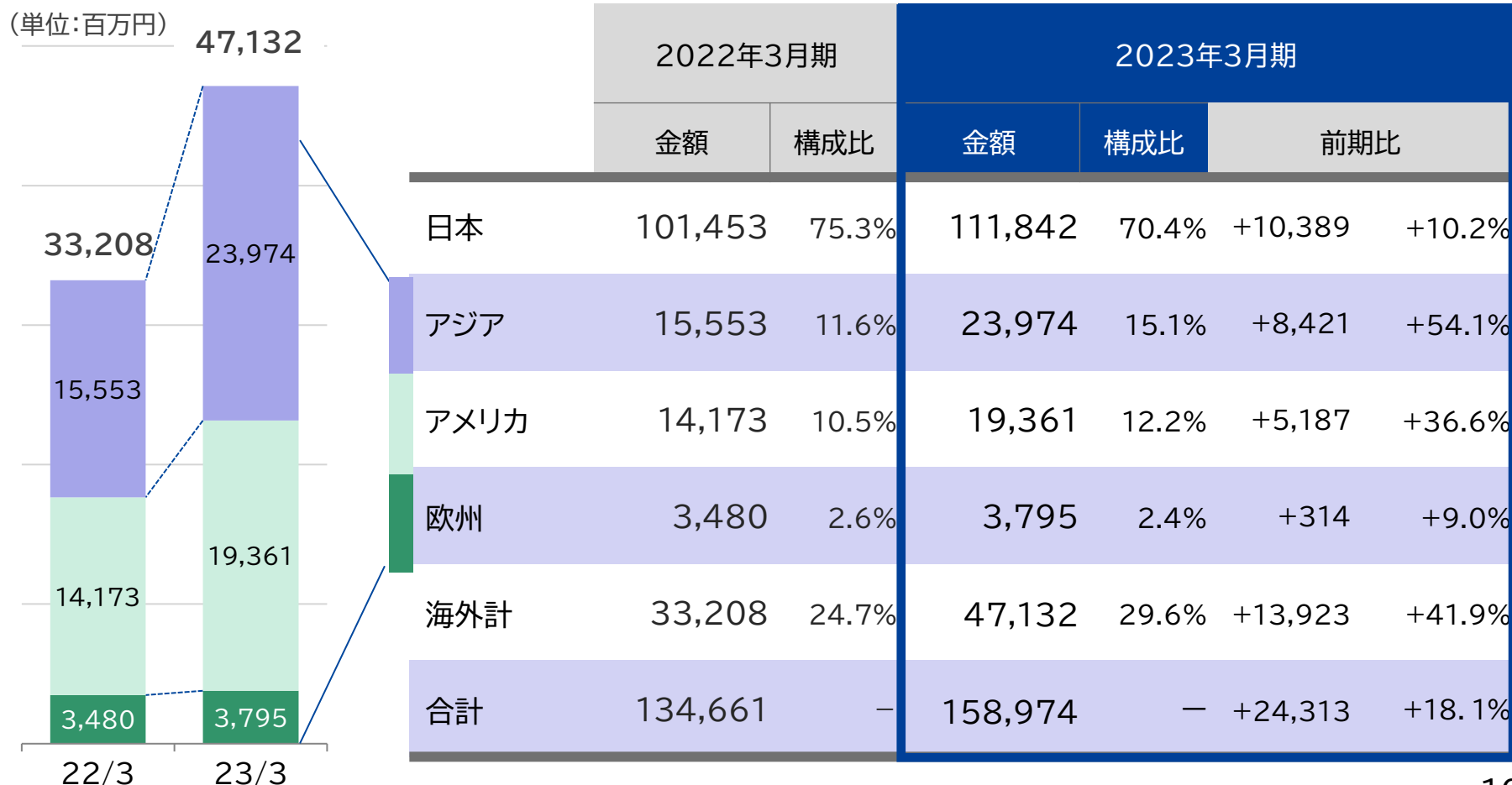
(単位:百万円)

| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | | |
|-------------|----------|-------|----------|-------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前期比 | |
| デンソー | 75,685 | 56.2% | 81,789 | 51.4% | +6,104 | +8.1% |
| 東海理化 | 4,293 | 3.2% | 5,448 | 3.4% | +1,155 | +26.9% |
| その他 | 21,473 | 15.9% | 24,605 | 15.6% | +3,131 | +14.6% |
| 海外拠点 得意先 | 33,208 | 24.7% | 47,132 | 29.6% | +13,923 | +41.9% |
| 合計 | 134,661 | — | 158,974 | — | +24,313 | +18.1% |

デバイス事業 エリア別売上高前期比較

- 全てのエリアで売上が伸長。
- 海外では、商流移管や円安による売上の積み上げ効果が大きく、前期比 +41.9%と大きく伸長。

(単位:百万円)



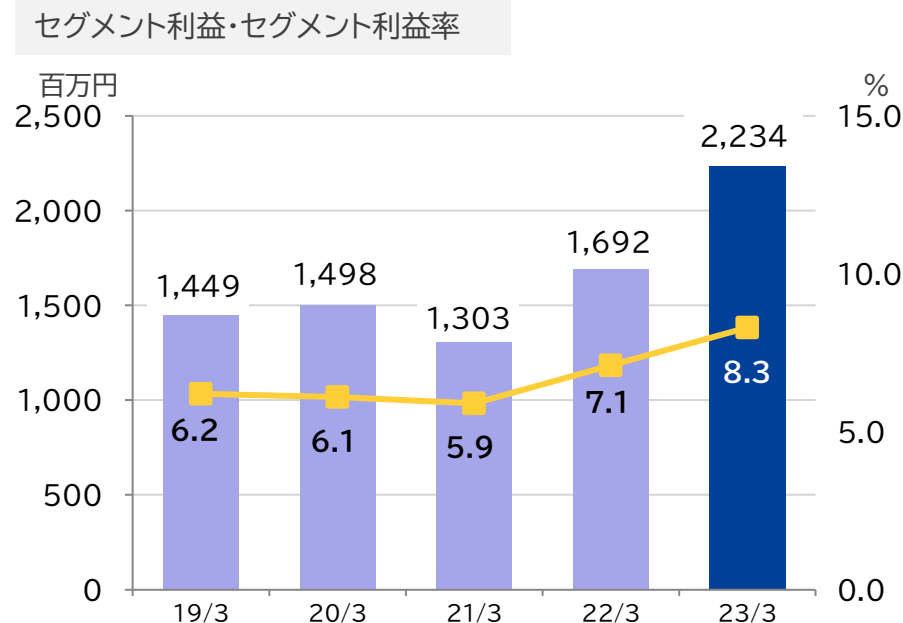
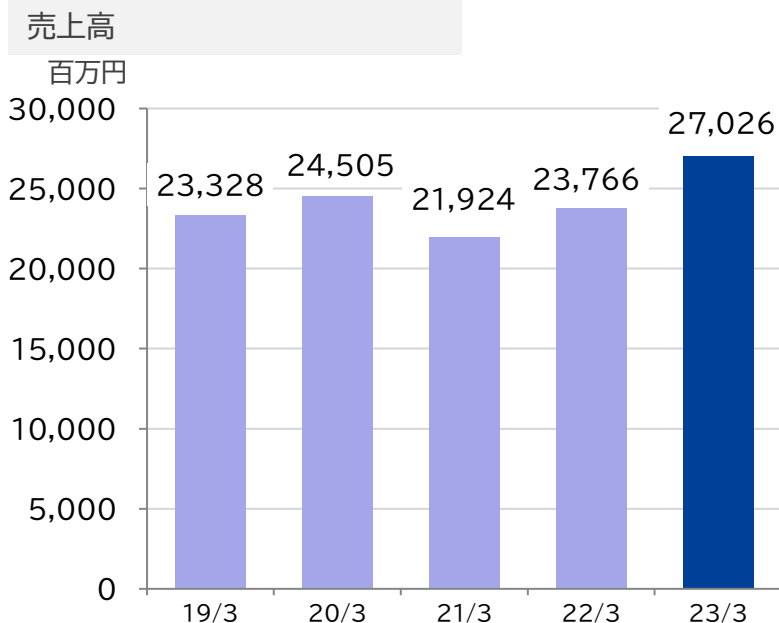
※地域名は拠点の所在地域(グループ内取引は除く)

ソリューション事業 業績概要

- 組込ビジネスの好調や、M&Aにより売上が増加。
- 利益率の高い組込ビジネスの伸長により、利益率が1.2ポイント向上。

(単位:百万円)

| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | | |
|---------|----------|------|----------|------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前期比 | |
| 売上高 | 23,766 | 100% | 27,026 | 100% | +3,260 | +13.7% |
| セグメント利益 | 1,692 | 7.1% | 2,234 | 8.3% | +541 | +32.0% |

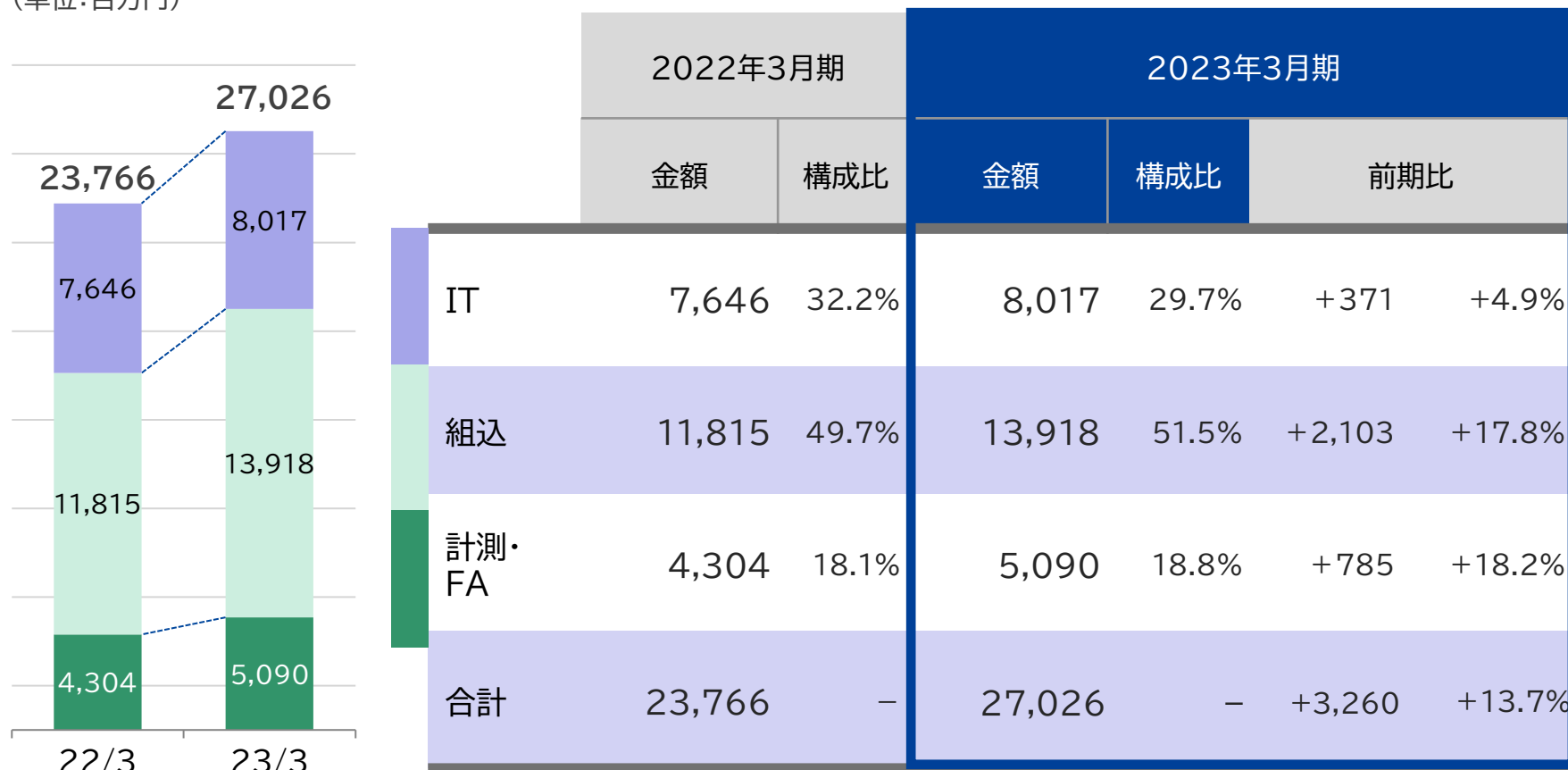


ソリューション事業 事業別売上高前期比較

- 搬送・半導体設備関連の顧客の生産が好調だったことにより組込ビジネスの売上が大きく増加。
- 計測・FAの売上増は子会社化した萩原エンジニアリングが寄与。

(単位:百万円)

(単位:百万円)

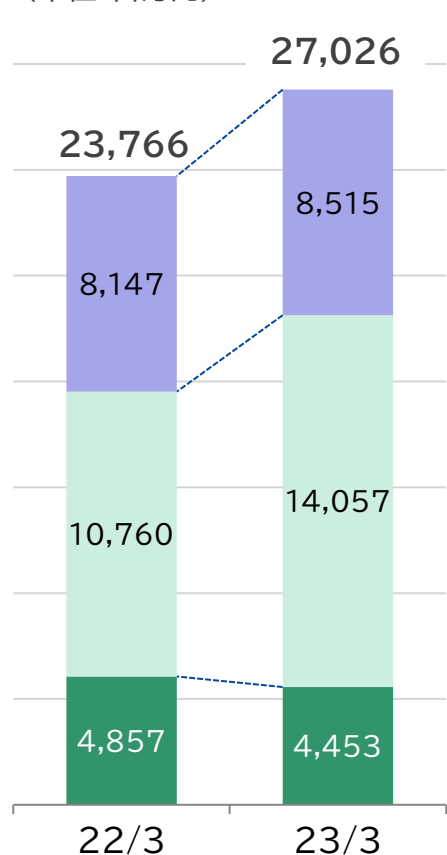


IT : IT機器販売、アプリ開発、IoTシステム開発、セキュリティ対策等
 組込 : 産業用コンピュータ開発・製造、機械装置向け組込産業用コンピュータ販売等
 計測・FA : 計測機器・検査装置・FA機器販売、各種自動化・省力化製造装置の開発・製造・販売等

ソリューション事業 業種別売上高前期比較

■ 搬送・半導体設備関連を中心にFA・産業機器の顧客向けの販売が好調。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | | |
|---------|----------|-------|----------|-------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前期比 | |
| 自動車 | 8,147 | 34.3% | 8,515 | 31.5% | +367 | +4.5% |
| FA・産業機器 | 10,760 | 45.3% | 14,057 | 52.0% | +3,296 | +30.6% |
| その他 | 4,857 | 20.4% | 4,453 | 16.5% | ▲403 | ▲8.3% |
| 合計 | 23,766 | - | 27,026 | - | +3,260 | +13.7% |

2023年3月期業績

- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてで過去最高を更新。
- 1株当たり年間配当金は前期と比較し55円増配の155円。

(単位:百万円)

| | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | | 前期比 | |
|---------------------|----------|---------------|----------------|---------------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 売上高 | 158,427 | 100% | 186,001 | 100% | +27,573 | +17.4% |
| 売上総利益 | 14,612 | 9.2% | 18,214 | 9.8% | +3,601 | +24.6% |
| 販管費 | 10,255 | 6.5% | 114,89 | 6.2% | +1,233 | +12.0% |
| 営業利益 | 4,356 | 2.8% | 6,725 | 3.6% | +2,368 | +54.4% |
| 経常利益 | 4,335 | 2.7% | 6,417 | 3.5% | +2,081 | +48.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,876 | 1.8% | 4,955 | 2.7% | +2,025 | +69.1% |
| 1株当たり年間配当金 (円) | 100 | 配当性向 30.8% | 155 | 配当性向 27.9% | +55 | — |

2023年3月期決算概要

2024年3月期業績予想

中期経営計画の進捗状況および企業価値向上への取り組み

2024年3月期業績予想

- デバイス事業、ソリューション事業ともに成長し、売上高は14.5%増の2,130億円を見込む。
- 成長を目的とした投資や、前期の為替変動やスポット案件で発生した利益の反動減等を織り込み、営業利益は6.3%減の63億円を見込む。

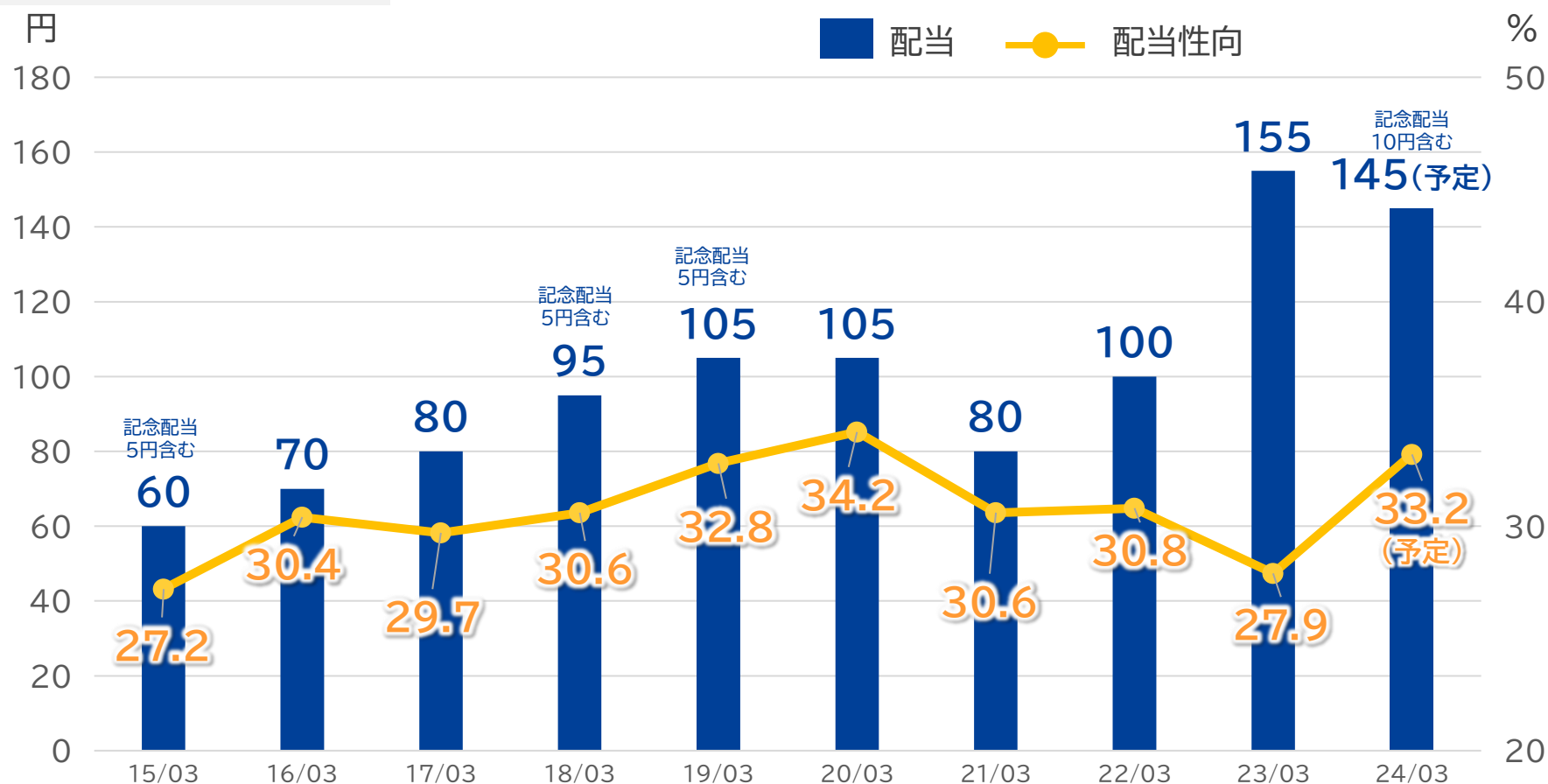
(単位:百万円)

| | 2023年3月期 | | 2024年3月期(予想) | | 前期比 | |
|---------------------|----------|------|--------------|------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 売上高 | 186,001 | 100% | 213,000 | 100% | +26,998 | +14.5% |
| 営業利益 | 6,725 | 3.6% | 6,300 | 3.0% | ▲425 | ▲6.3% |
| 経常利益 | 6,417 | 3.5% | 6,000 | 2.8% | ▲417 | ▲6.5% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 4,912 | 2.6% | 3,900 | 1.8% | ▲1,012 | ▲20.6% |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 554.71 | - | 437.02 | - | ▲117.69 | - |

株主還元

- 2024年3月期は東証・名証上場10周年の記念配当10円を期末配当に含み、年間配当145円を予定。
- 配当の基本方針は、配当性向30%を目途に安定的な配当の実施。

配当金および配当性向の推移



2022年3月期決算概要

2023年3月期業績予想

中期経営計画の進捗状況および企業価値向上への取り組み

中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）重点戦略

■ イノベーションによる価値創造と経営基盤強化により、企業価値を最大化。

| 重点施策 | ①-1 デバイス事業 | ①-2 ソリューション事業 |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| ①コア事業拡大 | [注力事業拡大] ● 車載SoC事業拡大 ● ソフトウェア・エンジニアリング 確立 | [注力事業拡大] ● DXファクトリー統合サービス 市場での価値提供 |
| ②新高付加価値 事業創出 | ①-3 グローバルビジネス拡大 ● ビジネスイノベーション企画推進活動 ● エンジニアリングビジネス強化 | |
| ③事業基盤強化 | ● 全社プロジェクト活動によるDX推進 ↳ サプライチェーンマネジメント改革 ● プロフェッショナル人材育成 ● 従業員エンゲージメント向上 ● グループ運営の最適化追求 | |
| ④企業価値向上 | ● SDGs/ESG経営推進 ● 資本政策/財務戦略強化 ● ステークホルダーエンゲージメント充実 | |

中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期) KPIの進捗

- 最終年度の経営目標を1年前倒しで達成し、当初目標を上回る新たな経営目標を設定。

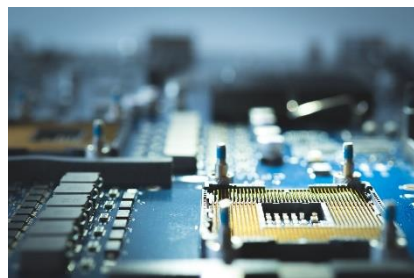
中期経営計画
Make New Value2023 期間

(単位:百万円)

| | 2021年3月期 実績 | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 実績 | 当初の最終年度 2024年3月期 目標値 | 最終年度 2024年3月期 目標値 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------------------|-------------------------|
| 売上高 | 127,830 | 158,427 | 186,001 | 170,000 | 213,000 |
| 2021年 3月期比 | - | +23.9% | +45.5% | +33.0% | +66.6% |
| 営業利益 | 3,468 | 4,356 | 6,725 | 5,000 | 6,300 |
| 2021年 3月期比 | - | +25.6% | +93.9% | +44.1% | +81.6% |
| ROE | 6.8% | 8.0% | 12.5% | 8.0% | 8.0%以上 |

エンジニアリングビジネス強化

- 新高付加価値事業創出の実行に向けたエンジニアリングビジネスの強化対策として、先端エンジニアリング技術を有する企業のM&Aを実施。



高度な技術を支える半導体需要の拡大



医療機器の高度化

電動車の普及

リチウムイオン二次電池関連

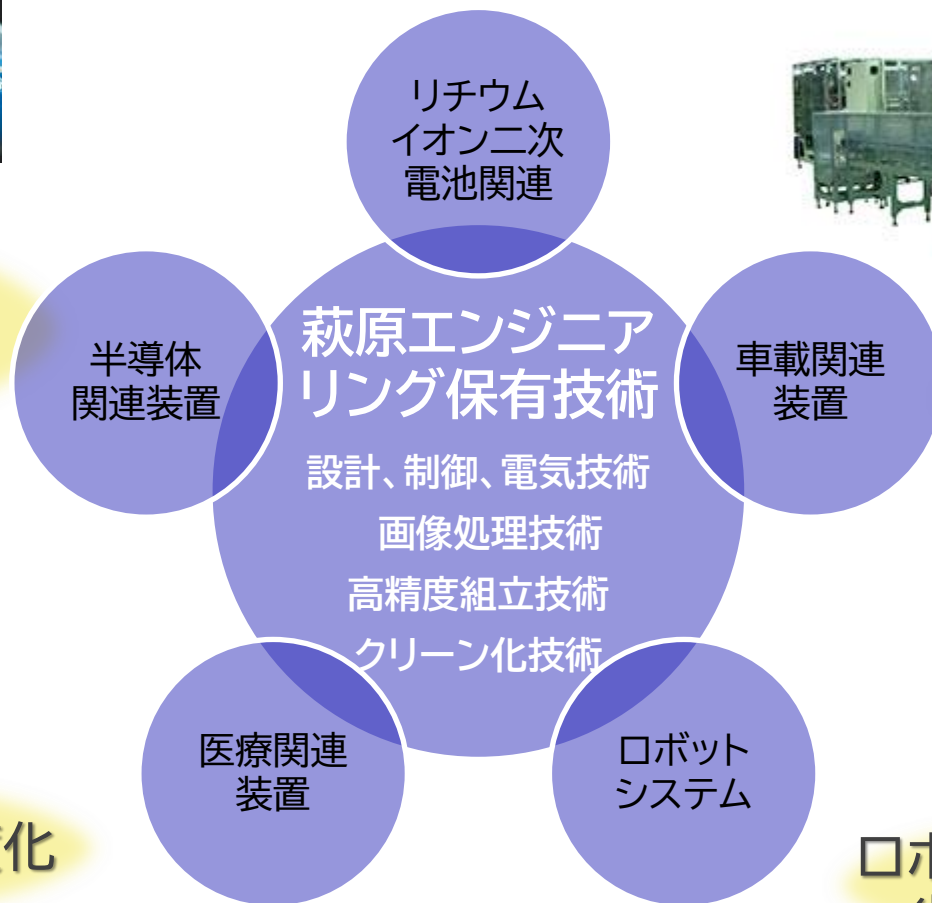
車載用電池 実績工程
(セル組立・モジュール組立)



新技術発展による生産設備の新設



ロボット導入による省力化・自動化



SDGs/ESG経営推進

- 2022年7月からTCFD提言に基づく情報開示を実施。
- 2023年4月にTCFD提言への賛同を表明し、コンソーシアムへ加盟。

(グループの温室効果ガス排出量)

| 区分 | | 排出量[t-CO2] | | |
|--------|-------------------|------------|--------|-----|
| | | 2020年度 | 2021年度 | |
| Scope1 | 温室効果ガスの直接排出 | 258 | 259 | |
| Scope2 | 空気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出 | マーケット基準 | 1,004 | 858 |
| | | ロケーション基準 | 875 | 862 |
| 合計※ | | 1,262 | 1,117 | |



自社の排出ガス低減施策

- ・社用車のエコカーへの乗り換え
- ・施設のLED化 等を進行

サプライチェーンの排出量低減については
関連企業様と協働で取り組みを実施

(主な気候関連のリスクと機会)

| 種類 | 要因項目 | 事業インパクト | 時間軸 | 影響度 |
|----------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----|
| 政策・法規制 | 自動車関連顧客への生産・サービスへの命令および規制 | 炭素税導入等の各種法規制の変更が、半導体製造やその他製造など、当社が商社機能として関わるサプライチェーンにおいて材料の供給や資材価格等へ悪影響を与えた場合、当社においても原価高騰による仕入れコストが増加 | 中期 | 大 |
| | | 自動車業界への政策厳格化に伴う自動車関連顧客のEVシフトに伴い、ガソリン車関連の部品点数減少や 部品構成変化による売上や利益の減少 | 中期 | 中 |
| | 排出規制の強化 | 運賃や輸送費の値上がりによる物流・輸送コスト増加による利益圧迫 | 中期 | 中 |
| 技術 | 既存製品の低炭素技術への入れ替え、新規技術への投資失敗等 | 太陽光発電設備など自家発電インフラの増設による設備投資コストが増加 | 中期 | 中 |
| | | 環境配慮型の自社製品(産業用コンピュータ、検査装置など)の開発への投資費用が増加 | 中期 | 小 |
| 評判 | 投資家、顧客の行動変化 | 環境情報開示ニーズ(ESG評価基準の厳格化、開示要請分野の拡大)への対応不十分によって当社への投資撤退や株価下落、人材獲得への影響、人材流出のリスクが発生 | 中期 | 大 |
| 急性物理的リスク | 異常気象甚大化 | 台風や洪水など異常気象の重大性と頻度の上昇によって、サプライチェーン寸断やインフラの長期停止が発生するリスクが上昇(発生した場合は売上減少) | 長期 | 中 |
| 慢性物理的リスク | 平均気温上昇 | 気温上昇による自社オフィスの空調エネルギーのコスト増加、気温上昇へ対応するための建物の省エネ改修や環境性能の高い物件への移転による改修費や賃料などのコスト増加 | 長期 | 小 |
| | | 気温上昇に伴い、仕入れ先のエネルギーコストが上昇し、当社においても原価高騰による仕入れコストが増加 | 長期 | 中 |
| 主な機会 | 電動車の普及拡大 | 電動車関連の部品構成の変化(モーター・インバーター・バッテリー等)に伴う提案機会拡大、ソフトウェアの検証と開発におけるビジネス機会増大 | 中期 | 大 |
| | | EVシフトや省エネ対策に伴うビジネス変化 | 電動車推進政策に伴い、EV市場におけるバッテリー監視、モーターやインバーター関連の生産設備のビジネス機会拡大 | 中期 |
| | 製品およびサービス | 環境負荷、省資源に対する意識の高まりに伴い、お客様の製造プロセスの効率化や生産性、省エネ性能を高めるITソリューションビジネス(最先端IT、DX推進、クラウド化など)、産業機器ビジネス(機器、インフラ、IoT、制御/解析など)の機会拡大 | 中期 | 大 |
| | | 市場 | カーボンニュートラル対応などの社会課題の解決に貢献するイノベーション創出、新規事業や領域拡大への参入機会の増加 | 長中期 |
| レジリエンス | 省エネ対策の推進 | 自社内環境負荷低減活動の推進、備品等、環境配慮製品の利用率向上、社員の環境意識向上によって、企業評価の向上、資産の呼び込みへの好影響 | 短期 | 小 |

【当社グループの成長戦略に基づく資金需要が増加】

- 自動車の高度化、高機能化への対応とグローバルサプライチェーンの安定を支える体制構築が急務
- 売上成長や事業構造改革に向けたDX投資や人材投資を積極化

■ 積極的な投資ができる健全な財務体質を維持・強化する目的で、多様な資金調達スキームを実行。

ESG経営支援私募債(2023年1月)

調達額 100億円

新株予約権発行(2023年4月)

5/31現在調達額 5億89百万円 (行使率18.1%)

2023年3月期 決算概要

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高更新

- 売上高は、前期比17.4%増の1,860億円となり過去最高。
顧客の生産が好調なことや円安効果などで、国内海外ともに成長。
- 利益面では、売上増加により売上総利益が増加し、
営業利益は前期比54.4%増の67億円となり過去最高益を達成。

2024年3月期 業績予想

売上高は過去最高の2,130億円を目指す

- 売上高は、デバイス事業、ソリューション事業ともに成長の見込み。
- 利益面では、成長投資や、前期の為替変動やスポット案件で発生した特殊要因の反動減等を織り込み、営業利益は63億円の見込み。

中期経営計画 進捗

最終年度の経営目標を1年前倒しで達成

- 最終年度(2024年3月期)の経営目標を2023年3月期に達成し、
新たに経営目標を発表。
(新経営目標) 売上高2,130億円、営業利益63億円、ROE8%以上



創造と挑戦

先進エレクトロニクスで未来を創造する
ソリューションデザインカンパニー

引き続きご支援ご鞭撻を
よろしくお願い申し上げます

本資料のうち、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基き当社で判断したものであります。
予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。